



光市長
プロフィール

氏名 市川 熙(いちかわ ひろし)
生年月日 1947年(昭和22年)9月2日
趣味 ウォーキング、読書
座右の銘 『いつも元気』
平成20年11月 光市長就任



光市百選地(虹ヶ浜)



光市百選地(室積)

「コロナ」や「自然災害」で 苦労の多かった2年間

市川 皆様こんにちは。本日の座長を務めさせていただきます。光市長の市川と申します。まず始めに、自己紹介を兼ねてまちのトピックなどを紹介させていただきたいと思います。まずは、私から申し上げます。

私は、平成20年の市長就任以来、本協議会の会長として本日も参加の皆様をはじめ会員自治体から多くのご協力を得ながらこれまで様々な活動を行ってきました。その中でも、毎年皆様と交流できる総会関連事業の開催を楽しみにしていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大

防止のため、2年連続中止としたところです。本日はオンラインではありますが、こうしてお話ができることを大変うれしく思います。

来年度は沖縄県の久米島町が開催地となります。3年ぶりの総会関連事業で皆様と直接交流する機会が訪れることを今から楽しみにしています。

光市のトピック1つ目は、第2次世界大戦終戦前日にアメリカ軍による光海軍工廠を標的とした空襲の際の不発弾が発見されたことです。11月21日に行われた撤去作業では、多くの市民や関係者の方々にご協力いただきながら、自衛隊の不発弾処理隊による作業が無事完了し、私も安堵しているところです。

2つ目は、新型コロナウイルスのワクチン接種で

蔵王町のトピック1つ目は、特産品の「梨」についてです。4月9日から1週間程、氷点下5度という冷え込みが続いたため、梨の花が凍霜害にかかり大変な被害を受け、出荷量は例年の3割程度に落ち込んでしまいました。まちの秋の味覚が失われ大変残念な思いをしています。

2つ目は、ワクチン接種などのコロナ対策により感染拡大が落ち着いてきた中で、コロナ前は年間280万人の観光客が訪れていた観光業に、ようやく回復の兆しが見えてきたことで

す。光市では4月14日から65歳以上の高齢者の接種を開始しました。開始当初は、なかなか予約が取れないなどの混乱もありましたが、その後は医師会や市民の皆様のご協力により、接種スケジュールを前倒しするほど順調に接種が進みました。接種率は山口県の中でも常に上位で、2回目接種率は8月末時点で約69%、9月末時点で約84%、10月末時点では約87%の方の接種が終了しています。

それでは、続きまして副会長の宮城県蔵王町、村上町長様をお願いします。

村上 皆様こんにちは。私は、協議会の設立当初から副会長として会長をサポートしております。蔵王町長の村上と申します。どうぞよろしくお願いたします。

一昨年から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、私たち日本の森・滝・渚全国協議会(以下「協議会」)の活動にも大きく影響し、特に、2年続けて総会関連事業が中止となったことは、会員間のコミュニケーションの場を失う結果となりました。こうした状況の中、ウイズコロナ・アフターコロナ社会における協議会の舵取り役となる会長、副会長、理事の中からご参加いただき、コロナ禍での現状をはじめ、これから協議会が取り組むべき課題や解決策の提案などについて意見交換していただく場として、オンライン形式の座談会を開催しました。

【参加者】

(座長)

市川 熙 会長(山口県光市長)

村上 英人 副会長(宮城県蔵王町長)

日野 康志 副会長(大分県九重町長)

國島 芳明 理事(岐阜県高山市長)



【特集】日本の森・滝・渚全国協議会リモート座談会

開催/令和3年11月24日(水)13:30~

「絆」～連携強化で未来へつなぐ～

蔵王町長
プロフィール



氏名 村上 英人(むらかみ ひと)
生年月日 1952年(昭和27年)1月27日
趣味 旅(たび)、温泉、料理
座右の銘 『天・地・人』(天に星・地に花・人に愛)
平成16年10月 蔵王町長就任



蔵王町
百選地
(三階滝)



蔵王町観光地(御釜)

す。まちは、遠刈田温泉をはじめ四季を通じて楽しめる場所が数多くあります。こうした観光地へ多くの人に訪れていただくため10月20日からプレミアム宿泊クーポン券を販売したところ、仙台圏を中心に多くの観光客に足を運んでいただきました。併せて、蔵王町版「るるぶ」を制作したところ、こちらも大きな反響をいただき、温泉街をはじめとするまちの賑わいにつながっています。

最後に、蔵王町で見ることのできる「樹氷」は、青森の八甲田山、岩手県の八幡平と合わせ、全国3ヶ所だけで見ることができると非常に珍しいものです。例年1月20日から2月20日までの期間が樹氷のシーズンです。特に、雪上車に乗って眺める樹氷は素晴らしいので、多くの人にお

越しただきたいと思います。機会があれば市川会長、日野副会長、國島理事さんもぜひ見に来てください。

市川 ありがとうございます。ぜひ樹氷を見に行きたいと思います。続きまして、同じく副会長の大分県九重町、日野町長様お願いします。

日野 皆様こんにちは。副会長を務めております九重町長の日野と申します。どうぞよろしくお願いします。本日久しぶりにこうやってお会いできる機会を本当に楽しみにしていました。協議会を通じてこうして親しくさせていただいていることに改めてお礼を申し上げます。令和

九重町のトピック1つ目は、豪雨災害です。令和

に回復し、11月20日には1,200万人に到達したところです。新型コロナウイルスは観光事業に測り知れない影響を与えましたが、ようやく落ち着きを見せてきていますので、これからまちな訪れる皆様に喜んでいただけるよう取り組んでいこうと思っています。

市川 ありがとうございます。九重、夢、大吊橋を渡った時の自分の姿を思い出させていただきました。続きまして、理事の岐阜県高山市、國島市長様お願いします。

國島 皆様こんにちは。理事を務めております高山市長の國島と申します。どうぞよろしくお願ひします。こうして皆様にお会いできるのを大

変身しみにしていました。私が出席した初めての総会は光市での開催でしたが、その時のおもてなしが忘れられません。ぜひまた総会で皆様にお会いしたいと思っています。

高山市のトピックは、観光業への新型コロナウイルス感染症の影響です。2年前まで年間470万人の観光客が訪れ、その内、外国人観光客61万人を含む220万人の方に宿泊いただけていました。宿泊や食事、お土産などによる経済効果は年間約1,000億円ありましたが、今年はその約3割、300億円程度という状況です。こうした中で、国の支援などに期待を寄せるところもありますが、一方で、国内での誘致競争が起こることが考えられます。先程、村上町長がプレミアムクーポン券を紹介されましたが、



九重町
百選地
(震動の滝)



九重町観光地(タデ原湿原)

2年7月豪雨では、まち始まって以来の大変な被害を受けました。その被害からの復興の矢先、今年8月12日から約1週間にわたり豪雨に襲われ、この時には、初めて警戒レベル5を発令する事態となりました。こうした自然災害から町民の生命、財産を守っていくことの大変さを改めて感じています。

2つ目は、新型コロナウイルスのワクチン接種です。九重町では、インターネット等に不慣れた高齢者に配慮して接種日を明記した接種券を配布したところ、高齢者の方々の安心につながり、工夫が実を結んで良かったと実感したところです。こうしたこともあり、現在は約78%の人が2回目接種を終えています。

3つ目は、8月11日に開催した第5回「山の日」記念全国大会です。この大会は、「山の日」という自然との共生を図りながら山に感謝する日ということで定められた祝日に行っているものですが、昨年は新型コロナウイルス感染症で1年延期となっていました。今年も開催日前には台風、そして開催日の翌日からは先ほど紹介した豪雨に見舞われましたが、開催日当日だけが奇跡的に天候に恵まれ無事に開催することができました。

最後に、九重、夢、大吊橋が10月30日に15周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症の影響で来訪者が減少していましたが、11月に入り徐々

高山市でもそうした取組を考えていこうと思っています。

高山市は平成17年に合併してから、東西約80キロ、南北約50キロ、面積2,178平方キロメートル、二つの市で長野、富山、福井、石川の4つの県と接するという広大なものになりました。面積は東京都全体と同じくらいですが、そのうち93%は山林で残りの7%のところに人が住む、まさに山岳観光都市です。現在、観光の中心は旧高山市にある歴史と伝統を感じる古い町並みなのですが、これからは周辺にある温泉やアルプスの自然公園などの豊かな自然環境を活用した歴史と自然環境をミックスさせた観光振興を進めていこうと思っています。一方で、コロナ禍で受けた観光業への打撃を考えると、観光一辺倒ではなく、例えば広大な森林を活かした第一次産業の活性化を図るなど、特性を生かした多角的なまちづくりにも力を入れていきたいと思っています。

市川 ありがとうございます。観光業がコロナ禍で受けた影響の大きさを改めて感じました。蔵王町、九重町、高山市と比べて光市の観光業は規模が大きくありませんので、そういった面ではお三方で共通する話題もあるのではないかと思います。

九重町長
プロフィール



氏名 日野 康志(ひの やすし)
生年月日 1959年(昭和34年)9月9日
趣味 スポーツ観戦
座右の銘 『誠実に生きて悔いの無い人生』
平成28年10月 九重町長就任

高山市長
プロフィール



氏名	國島 芳明(くにしま みちひろ)
生年月日	1950年(昭和25年)1月15日
趣味	音楽鑑賞、映画鑑賞、ウォーキング
座右の銘	『すべてに感謝』
平成22年9月	高山市長就任

あらゆる連携を強化し
自然環境を守り抜く

市川 それでは、二つ目のテーマに参ります。テーマは、九重町からいただいた「自然環境の保全と観光地としての活用について」です。

日野 九重町は、九重連山の麓に広がる自然豊かなまちで、全体の約47.1%が国立公園や国定公園に指定されています。気候は寒暖の差が非常に大きく、標高1,333mの牧ノ戸峠は、人の住む地域の中では九州で最初に雪が降る場所です。その他にも、水や温泉、地熱などの豊富な資源、溪谷や百選地である震動の滝をはじめとす



高山市百選地(城山公園)



高山市百選地(平湯大滝)

る名瀑など、四季折々の素晴らしい自然環境を味わえます。

そうした中、2005年にラムサール条約に登録された国内最大級の中間湿地であるタテ原湿原は、野焼きなど人の手による維持を行いながら、自然観察会を通じた交流など観光資源として活用しています。また、2017年には、多様な自然環境と生物多様性により育まれた文化を町の個性として大切にしていくな必要があると考え「生物多様性ここの戦略」を策定しました。

しかしながら、自然環境や生物多様性は失われつつあり、これには、高齢化による担い手の不足や生活様式の変化による管理不足など、様々な社会問題が複雑に絡んでいます。こうしたことか

持つ海に至る』このような自然環境のつながりを持つ自治体が集まり、国からの支援も受けず協議会として活動していくことは大変素晴らしい。できることはお伝えします。」とおっしゃっていました。様々な課題に対し、私達がそれぞれ単独で対応していくことが難しくなっています。協議会の会員自治体が連携して国などへ要望を上げていくことも大事になってくるのではないかと考えています。

市川 その通りだと思います。今後はますます連携が大事になってくると思います。

國島 私も連携には大賛成です。高山市は蔵王連峰の麓の山形県上市市の友好都市でもありますので、協議会だけでなく、そういった連携も生かしていけたらいいと思います。

生物多様性の話になりますが、高山市でも希少動物を含む多様な生き物を守り、先人が守り伝えてきた自然環境を自分たちの代で無くしてはいけないという強い思いから、平成22年に「生物多様性ひだたかやま戦略」を策定しました。その中では、故宮脇昭 横浜国立大学名誉教授が「自然は人が介入しない限り守れない。自然環境を次の時代に継承していくためには関わる人を育てることが必要である。」とお話しされていたよ

うに、特に環境教育と人材育成に力を入れ、小学生や市民を対象とした自然環境学習や山の自然学校を開催しています。他にも地元ガイドを養成し、養成したガイドとともに自然学習や増えすぎた特定外来植物の除去をする活動も行っています。

一方で、SDGsのお話がありましたが、「持続可能」を実現していくためには、そこに人が住み続けなければいけませんし、住み続けるためには、生活していくための生業を作らなければなりません。そう考えると、環境を保全するためには、経済を成り立たせ地域コミュニティの維持を図っていく必要があります。

高山市では、乗鞍山麓五色ヶ原の森での観光ツアーを実施していますが、このツアーでは、予約制による入山規制を行うとともに、入山の際はガイド同行を義務付けてガイド料をいただいています。そうすることで環境への過度な負荷を防ぎ、ガイドの雇用を生み出すとともに、施設の維持管理費などにも充てることが出来ます。自然は人々にとって大事な共有財産ではありますが、それを活用する際には、相応の対価を負担していただくことが持続可能な地域にいく方法の一つだと考えています。

また、国立公園や国定公園内の廃屋の問題では、そこに住む人達が問題などを理解し行動し

ら、環境対策だけではなく、例えば自然と人との新たな繋がりを生み出すなど、現在の生活に即した方法を考えながら資源として活用していくことで持続可能な自然の恵みの享受につながるのではないかと考えていますが、皆様のご意見をお聞きしたいと思ひ提案しました。

村上 蔵王町では、地域資源の価値を理解し、持続可能な地域開発を行うため、SDGsの活用を考えていく中で、現在「蔵王ジオパーク構想」に力を入れていきます。「蔵王ジオパーク構想」は、蔵王の宝、すなわち自然や歴史文化などの地域資源を余すことなく生かし、町内外に蔵王のファンを増やすことを目的として、自然保護をはじめ観光振興や環境教育といった様々な活動に取り組みものです。

その中での課題として、蔵王連峰の象徴でもあるエメラルドグリーンの「御釜」に向かう登山道にトイレが少ないことがあります。また、山に点在する所有者不明の廃屋をどうするかという課題もあります。さらに、近年の局地的な大雨による登山道の崩落などにも対応しなければなりません。

ここで少し昔の話をしますが、本協議会の設立総会にお招きした当時の環境省の方が「一滴のしずくが森に落ち、小川を流れて滝を下り、渚を

てもらうことが一番大切なことではあります。協議会という広域的な連携の中で、こうした課題の解決のために国への要望なども行っていけたらと考えています。

市川 ありがとうございます。私も宮脇先生の言葉のとおり、自然を守るために人を育てていく環境教育が今後ますます重要になるものと考えています。

光市からは少し視点を変えて海についてお話しします。私たちが誇る百選地、虹ヶ浜・室積海岸は瀬戸内海国立公園内に位置しています。この瀬戸内海はかつて工業廃水などによる汚染で「死の海」と呼ばれていました。しかし、1973年制定の瀬戸内法による排水規制により徐々に浄化されはじめ、今では逆に、植物性プランクトンの減少による漁獲量の減少が危惧されるほどきれいな海になっています。このようなきれいな水質の海はありますが、やはり近年問題となっている海洋ごみには悩まされているところではあります。

光市では毎年7月初旬、全住民に呼びかけ海岸や川の清掃を行う「クリーン光大作戦」を実施しています。開始から50年近くが経過し、かつて2万人以上いた参加者が徐々に減少しています。そうした状況の中ではあります

が、近年では、中学生が積極的に参加するようになっていきます。これは、「15歳は地域の担い手」をキーワードに先進的な取組を進めるコミュニティスクールの活動などの成果の一端ですが、清掃活動を通じて自然と接し、自然の素晴らしさを体感すると同時に、海洋ごみの現状を知ることによって、ますます自然保護の意識が醸成されていくものと思っております。観光や産業の振興と環境保全を同時に実現していくことは大変難しいことではありますが、その解決方法の一つは、市民や企業をこうした活動に巻き込み、連携していくことではないかと思っております。

また、観光振興では「瀬戸内国際芸術祭」のような取組も参考になると思います。私たち協議会も全国組織という強みを生かし、例えば近隣の百選地が連携した周遊企画ができないか、また、そうした企画に対する支援を国へ要望することとはできないかといった検討も進めていければいいのではないかと思います。

日野 ありがとうございます。大変参考になりました。九重町でも登山道の整備については、授業の一環として高校生に毎年協力をいただいています。また、皆さんの話を伺っていると、様々な課題に対する国への要望を上げてい

くといった行動を起こすことが大事ではないかと感じられました。協議会として行動していくために理事会などで取り上げてみてはどうでしょうか。

市川 そうですね。まずは協議会の中からいろいろな要望を吸い上げ、それを理事会に諮ることが、協議会として行動を起こしていく第一歩になりますね。

村上 要望については私も賛成ですが、私たちの協議会は、市長会やその他の全国的な組織と違い独立した事務局を持っていません。そうした中で要望の取りまとめなどの業務を円滑に進めていくには課題も多いと思いますがどうでしょうか。

市川 おっしゃるとおり、兼務で業務を行っている今の体制では難しい面もあるかと思えます。そうした意味では、理事会などで会員の皆様の知恵と力をお借りしないといけません。一度要望の実施に向けて検討していきたいと思えます。

可能エネルギーの活用を考える中で、同じような懸念が出ています。そういった部分については、現在、大手企業などが調査を進めている段階です。「ウイズコロナ」というキーワードが出ましたので、そういった視点での取組についてご紹介しますと、感染リスクの低い大自然の中で自然体験や教育活動を行う体験ツアーや教育旅行を「蔵王ジオパーク構想」の中で力を入れて実施しているところでは、

日野 九重町では地熱発電が盛んに行われていますが、貴重な温泉資源の枯渇は温泉事業者にとつては死活問題ですので、乱開発を規制し資源と人との共存共栄を図っていかなければなりません。そうした中での対応策として「地熱発電事業検討委員会」を設置し、大学教授の専門的な知見を基に審査を行うなど、慎重に地熱エネルギーの活用を進めているところです。

市川 光市では資源の活用に関する事例がありませんので、ウイズコロナ社会での自然環境の活用の視点から具体的な提案をしたいと思えます。

外出自粛等による運動不足が指摘される中、三密を避けながら運動ができるウォーキングに注目が集まっていますが、会員ごとに百選地を含んだウォーキングマップを作成し、各市町

のホームページや協議会ホームページ等で公開したらいいのではないかと思っております。その際、各コース完歩特典を設けるなど、百選地のPRと合わせて運動による健康の向上につなげる取組です。

もう一つ、森林環境譲与税を活用して、例えば、森林浴の森百選を持つ自治体同士が協力して植林し整備することで、各自自治体のPRと森林保全意識の啓発につなげる取組です。こうした整備した森は、若い世代への環境教育や自然体験の場として活用することも可能ですので、協議会として検討してみるのも面白いのではないかと思います。

國島 地域とのマッチング方法については、九重町の検討委員会が大変参考になります。やはりしっかりとした組織を作って対応していく必要があるということを感じました。特に今、国が率先して進める脱炭素社会に向けた取組では、再生可能エネルギーの活用がクローズアップされていますが、例えば太陽光発電パネルの設置のために山林を無作為に開発してしまうようなことが起きると、自然環境の保全に取り組む地域との温度差が生まれてしまいます。今後、脱炭素社会に向けた取組を進めていく中で、各地域が抱える課題などを整理し、協議会で情報交換などが

「ウイズコロナ」を チャンスに変える

市川 それでは二つ目のテーマに参ります。テーマは、高山市からいただいた「ウイズコロナ社会での自然環境資源の効果的な活用について」です。

國島 自然環境の活用については、九重町のテーマと重なる部分が多く、これまでのお話しの中で参考となるところが多くありましたので、資源の活用の部分について質問の趣旨をご説明します。

高山市では、貴重な資源である温泉熱を利用した地熱発電や小水力発電の取組を進めています。再生可能エネルギーの活用は進めていかないけないわけですが、その中で地域から「温泉資源が枯渇するのではないか」といった意見や「電線などが景観を壊してしまうのではないか」といった意見がでてきます。そこで、こうした場合の地域とのマッチングの方法などについて参考事例がありましたらお聞きしたいと思提案しました。

村上 蔵王町においても地熱や水力といった再生

できればと思います。

また、ウォーキングイベントに関連する話ですが、先程ご紹介した五色ヶ原の森での観光ツアーでは、コロナ禍の中、有料にもかかわらず観光客が増えています。こうしたことから、観光する人の流れはなるべく人の少ない場所へ向かう、いわゆる「自然志向」に向かっているのではないかと感じています。そういう意味では、百選地を持つ私たちは有利な面もありますが、観光客をお迎えするにあたっては、しっかりとした感染予防を行う責任もあると思えます。そうした面での情報交換も協議会の中で行っていったらと思えます。

市川 虹ヶ浜・室積両海岸でも、学校の休校時は家族連れで遊ばれる姿がよく見られました。國島市長も言われたように、これまで人の多いところに観光していた日本人も、これからのウイズコロナ社会では、ヨーロッパの人々のように人の少ないところを探して観光するスタイルが定着してくるのではないのでしょうか。森・滝の百選地という貴重な自然を持つ私たちもこの機会を捉え、更なる観光振興を進めていければと思います。

絆の力で 自然環境を未来につなぐ

市川 それでは最後に、お一人ずつ協議会へのメッセージをお願いします。

日野 私は、人のつながりが何よりも大切だと考えていますが、それを示してくれたのがこの協議会です。遠く離れていても近くに感じられるように今後とも交流を活発に行いながら皆様とともに歩んでいきたいと思っています。

國島 私たちが持つ森・滝・渚は、先人の方々が大切に守ってこられたものです。それにもかかわらず、今はそうした貴重な自然が「そこにあつて当たり前」という感覚になりすぎているのではないかと感じています。放っておけば森は立ち枯れ、川や滝の水は汚染され、渚にはゴミがあふれてしまいかもしれない、つまり、自然環境は失われてしまう可能性があるんだという危機感を皆で共有していかなければなりません。そのために協議会で皆様と力を合わせながら、豊かな自然環境を次の世代へつなげていくために取り組んでいきたいと思っています。

村上 自然環境を守るために自ら創設して活動している協議会は全国的にも非常に珍しいものです。自然災害が増えてきている今、それぞれの自治体だけで環境を保全していくことが厳しい状況となっているからこそ、これまで以上に協議会で力を合わせていく必要があると思います。また、私たちの活動を国に伝え、支援していただくことにも取り組んでいければと思います。

市川 「一滴のしずくが森に落ち、小川を流れて滝を下り、渚を持つ海に至る」村上町長が紹介された言葉のとおり、私たちは百選地という絆でつながっています。先人から受け継いだ自然環境を子ども達へつなげていくために、今後も協議会活動を推進していきたいと思っています。
今日は本当にありがとうございました。

自然敬愛宣言

地球悠久の歴史の中で、わが国固有の風土が育んだ森・滝・渚の日本百選は、その地のみならず、国民共有の財産として、多くの人に癒しの場、和みの場として親しまれています。先人に託されたふるさとの恵み多き美しい自然を、後世にしっかりと引き継いでいくことは、今を生きる私たちの切なる願いであると同時に、重大な責務です。

しかしながら、地球温暖化をはじめとする深刻な環境問題は、21世紀の人類に課せられた最大の課題であり、これを解決しない限り、明るい未来は保障されません。それは、私たち人間が、目先の経済活動を優先し、物質的な豊かさを享受する一方で、地球環境を悪化させ、ひいては私たち自身にも脅威を与え続けてきた結果と言えます。近年の頻発する自然災害は地球の悲鳴にも聞こえ、私たちに警鐘を鳴らしているように思えてなりません。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、大自然の猛威の前にかげがえのない尊い生命や財産が失われるとともに、これまで大切に守られてきた名勝・景勝も壊滅的な被害を受けました。私たちは大震災が残した教訓を謙虚に受け止め、震災で失われた美しい自然が再生する日まで、息の長い復興支援を進めていきます。

現在と未来との橋渡しを託された私たちの責務として、日本各地に散らばる輝かしい地球の至宝を有する日本の森・滝・渚全国協議会の加盟自治体は、次に掲げる「自然敬愛憲章」を基本理念として、継続して連携を深め、自然敬愛イコール地球敬愛の視点に立って、明るい未来をめざし、自然と共に前進していくことを宣言します。

平成26年8月21日

日本の森・滝・渚全国協議会

自然敬愛憲章

- 1 私たちの生命のみならず、日本列島の比類なき自然を地球の宝として、子孫に引き継ぐように努めます。
- 2 自然の偉大さ、優しさ、厳しさを知り、自然に学び、自然に親しみ、計り知れない自然の恩恵に感謝します。
- 3 心身を癒す自然のふところに帰り、情緒豊かな人間性を取り戻し、潤いのある自然との共生をめざします。
- 4 全ての生類を育む神秘の星を尊び、限りある地球の資源をむだなく使い、もったいないと思う心を持ちます。
- 5 自然に従う者は栄え、逆らう者は滅ぶ。
自然の道理を守れば、人も国も地球も、真の幸せを実現できます。

(自然敬愛提唱者 三島昭男 起草)

日本の森・滝・渚全国協議会 会員名簿

令和4年2月1日現在

no.	自治体名	〒	住所	代表者名	担当部課名	森	滝	渚
39	三重県熊野市	519-4392	三重県熊野市井戸町796	河上 敢二	観光スポーツ交流課		●	●
40	兵庫県養父市	667-0198	兵庫県養父市広谷250番地1	広瀬 栄	環境推進課	●	●	
41	兵庫県南あわじ市	656-0492	兵庫県南あわじ市市善光寺22番地1	守本 憲弘	商工観光課			●
42	兵庫県香美町	667-1392	兵庫県美方郡香美町村岡区村岡390番地の1	浜上 勇人	村岡地域局		●	
43	奈良県天川村	638-0392	奈良県吉野郡天川村沢谷60番地	車谷 重高	地域政策課		●	
44	和歌山県新宮市	647-8555	和歌山県新宮市春日1番1号	田岡 実千年	生活環境課	●	●	
45	和歌山県白浜町	649-2511	和歌山県西牟婁郡白浜町日置308番地	井淵 誠	日置川事務所		●	●
46	鳥取県岩美町	681-8501	鳥取県岩美郡岩美町大字浦富675番地1	西垣 英彦	商工観光課			●
47	岡山県真庭市	719-3292	岡山県真庭市久世2927-2	太田 昇	産業政策課		●	
48	山口県光市	743-8501	山口県光市中央六丁目1番1号	市川 熙	環境政策課	●		●
49	山口県長門市	759-4192	山口県長門市東深川1339番地2	江原 達也	観光政策課			●
50	徳島県阿南市	774-8501	徳島県阿南市富岡町トノ町12番地3	表原 立磨	農林水産課			●
51	愛媛県八幡浜市	796-8501	愛媛県八幡浜市北浜一丁目1番1号	大城 一郎	建設課	●		
52	愛媛県愛南町	798-4196	愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2420番地	清水 雅文	商工観光課			●
53	長崎県杵岐市	811-5192	長崎県杵岐市郷ノ浦町本村触562番地	白川 博一	観光課			●
54	長崎県五島市	853-8501	長崎県五島市福江町1番1号	野口 市太郎	三井楽支所 地域振興班			●
55	熊本県菊池市	861-1392	熊本県菊池市隈府888番地	江頭 実	商工観光課	●	●	
56	熊本県宇土市	869-0492	熊本県宇土市浦田町51番地	元松 茂樹	商工観光課			●
57	大分県九重町	879-4895	大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1	日野 康志	商工観光・自然環境課		●	
58	大分県玖珠町	879-4492	大分県玖珠郡玖珠町大字帆足268番地の5	宿利 政和	企画商工観光課		●	
59	宮崎県えびの市	889-4212	宮崎県えびの市大字栗下1292番地	村岡 隆明	観光商工課	●		
60	鹿児島県始良市	899-5294	鹿児島県始良市加治木町本町253番地	湯元 敏浩	商工観光課		●	
61	鹿児島県屋久島町	891-4207	鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田849番地20	荒木 耕治	観光まちづくり課	●	●	
62	沖縄県宮古島市	906-8501	沖縄県宮古島市平良字西里1140番地	座喜味 一幸	観光商工課			●
63	沖縄県久米島町	901-3193	沖縄県島尻郡久米島町字比嘉2870番地	大田 治雄	商工観光課			●

no.	自治体名	〒	住所	代表者名	担当部課名	森	滝	渚
1	北海道島牧村	048-0621	北海道島牧郡島牧村字泊83-1	藤澤 克	企画課		●	●
2	北海道積丹町	046-0201	北海道積丹郡積丹町大字美国町字船淵48番地5	松井 秀紀	農林水産課			●
3	北海道利尻富士町	097-0101	北海道利尻郡利尻富士町鷺泊字富士野6番地	田村 祥三	産業振興課	●		
4	青森県平内町	039-3393	青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63	船橋 茂久	地域整備課			●
5	岩手県宮古市	027-8501	岩手県宮古市宮町一丁目1番30号	山本 正徳	観光課	●		●
6	岩手県陸前高田市	029-2292	岩手県陸前高田市高田町字鳴石42番地5	戸羽 太	農林課	●		●
7	宮城県蔵王町	989-0892	宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10	村上 英人	環境政策課		●	
8	秋田県鹿角市	018-5292	秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1	兎玉 一	産業活力課	●	●	
9	秋田県由利本荘市	015-8501	秋田県由利本荘市尾崎17番地	漆 貴信	観光文化振興課		●	
10	秋田県にかほ市	018-0192	秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地	市川 雄次	観光課			●
11	秋田県小坂町	017-0292	秋田県鹿角郡小坂町小坂字上谷地41番地1	細越 満	観光産業課		●	
12	山形県鶴岡市	997-8601	山形県鶴岡市馬場町9番25号	皆川 治	観光物産課	●	●	●
13	茨城県大子町	319-3526	茨城県久慈郡大子町大字大子866番地	高梨 哲彦	観光商工課	●	●	
14	群馬県沼田市	378-8501	群馬県沼田市下之町888番地	横山 公一	利根支所		●	
15	群馬県渋川市	377-8501	群馬県渋川市石原80番地	高木 勉	観光課		●	
16	千葉県旭市	289-2595	千葉県旭市ニの2132番地	明智 忠直	企画政策課			●
17	千葉県鴨川市	296-8601	千葉県鴨川市横渚1450番地	長谷川 孝夫	商工観光課			●
18	千葉県匝瑳市	289-2198	千葉県匝瑳市八日市場ハ793番地2	太田 安規	産業振興課			●
19	千葉県山武市	289-1392	千葉県山武市巖台296番地	松下 浩明	商工観光課			●
20	千葉県横芝光町	289-1793	千葉県山武郡横芝光町宮川11902番地	佐藤 晴彦	産業課			●
21	東京都檜原村	190-0212	東京都西多摩郡檜原村467-1	坂本 義次	産業環境課		●	
22	新潟県妙高市	944-8686	新潟県妙高市栄町5番1号	入村 明	観光商工課		●	
23	新潟県村上市	958-8501	新潟県村上市三之町1番1号	高橋 邦芳	観光課		●	
24	富山県立山町	930-0292	富山県中新川郡立山町前沢2440番地	舟橋 貴之	商工観光課	●	●	
25	富山県朝日町	939-0793	富山県下新川郡朝日町道下1133番地	笹原 靖直	農林水産課			●
26	石川県白山市	924-8688	石川県白山市倉光二丁目1番地	山田 憲昭	観光課		●	●
27	山梨県山梨市	405-8501	山梨県山梨市小原西843	高木 晴雄	観光課	●	●	
28	山梨県山中湖村	401-0595	山梨県南都留郡山中湖村山中237-1	高村 正一郎	観光産業課			●
29	山梨県富士河口湖町	401-0301	山梨県南都留郡富士河口湖町船津1700番地	渡辺 喜久男	農林課	●		●
30	長野県上田市	386-2292	長野県上田市真田町長7178番地1	土屋 陽一	真田地域自治センター 産業観光課	●		
31	長野県上松町	399-5601	長野県木曾郡上松町大字上松159番地4	大屋 誠	産業観光課	●		
32	長野県南木曾町	399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3668番地の1	向井 裕明	産業観光課		●	
33	岐阜県高山市	506-8555	岐阜県高山市花岡町2丁目18番地	國島 芳明	都市計画課	●	●	
34	岐阜県中津川市	508-0351	岐阜県中津川市付知町4956番地43	青山 節見	付知総合事務所	●		
35	岐阜県下呂市	509-2295	岐阜県下呂市森960番地	山内 登	観光課		●	
36	岐阜県養老町	503-1392	岐阜県養老郡養老町高田798	大橋 孝	企業誘致・商工観光課		●	
37	静岡県南伊豆町	415-0392	静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1	岡部 克仁	商工観光課			●
38	三重県名張市	518-0492	三重県名張市鴻之台1番町1番地	亀井 利克	観光交流室	●	●	

日本の森・滝・渚全国協議会 役員名簿

令和4年2月1日現在

役 職	団 体	氏 名
会 長	山口県光市	市川 熙
副会長	宮城県蔵王町	村上 英人
	千葉県鴨川市	長谷川 孝夫
	和歌山県新宮市	田岡 実千年
	大分県九重町	日野 康志
理 事	秋田県にかほ市	市川 雄次
	茨城県大子町	高梨 哲彦
	富山県立山町	舟橋 貴之
	岐阜県高山市	國島 芳明
	岐阜県養老町	大橋 孝
	三重県熊野市	河上 敢二
	長崎県五島市	野口 市太郎
	鹿児島県始良市	湯元 敏浩
監 事	北海道島牧村	藤澤 克
	静岡県南伊豆町	岡部 克仁

MEMO



第13号
令和2年2月発行

- 総会開催地の紹介
鳥取県岩美市
- 百選地探訪
森…西沢渓谷遊歩道、
七ツ釜五段の滝
(山梨県山梨市)
- 滝…苗名滝、惣滝
(新潟県妙高市)



第14号
令和3年2月発行

- 総会開催地の紹介
富山県朝日町
- 特集「協議会の歩み」



第9号
平成28年2月発行

- 総会開催地の紹介
岩手県宮古市
- 百選地探訪
森…角間渓谷
(長野県上田市)
- 森…赤沢自然休養林
(長野県上松町)



第10号
平成29年2月発行

- 総会開催地の紹介
岐阜県養老町
- 百選地探訪
滝…くまもと自然休養林菊池溪谷
(熊本県菊池市)
- 渚…有明海・砂干潟(御興来海岸)
(熊本県宇土市)
- 滝…鹿目の滝
(熊本県人吉市)



第11号
平成30年2月発行

- 総会開催地の紹介
鹿児島県屋久島町
- 百選地探訪
渚…渋川海岸
(岡山県玉野市)
- 滝…震動の滝
(大分県九重町)



第12号
平成31年2月発行

- 総会開催地の紹介
山口県光市
- 百選地探訪
渚…前原・横渚海岸
(千葉県鴨川市)
- 滝…渚…七里御浜、布引の滝
(三重県熊野市)



第5号
平成24年2月発行

- 総会開催地の紹介
岐阜県下呂市
- 百選地探訪
森…高館山 自然休養林
羽黒山 参道の杉並木
滝…七ツ滝、渚…由良海岸
(山形県鶴岡市)
- 渚…雨晴海岸・松田江の長浜
(富山県高岡市)
- 渚…七里御浜、渚…布引の滝
(三重県熊野市)
- 森…九州中央山地国定公園綾地区
(宮崎県綾町)



第6号
平成25年2月発行

- 総会開催地の紹介
宮城県蔵王町
- 百選地探訪
滝…オシンコシンの滝
(北海道斜里町)
- 森…立山美女平・ブナ坂・下ノ小平
滝…称名滝(富山県立山町)
- 渚…弓ヶ浜海岸
(静岡県南伊豆町)
- 滝…八草の滝、渚…白良浜
(和歌山県白浜町)
- 森…屋久島自然休養林
滝…大川の滝
(鹿児島県屋久島町)



第7号
平成26年2月発行

- 総会開催地の紹介
山口県光市
- 百選地探訪
森…八幡平
(秋田県鹿角市)
- 滝…神庭の滝
(岡山県真庭市)
- 渚…青海島
(山口県長門市)
- 滝…西権屋の滝
(大分県玖珠町)



第8号
平成27年2月発行

- 総会開催地の紹介
広島県三次市
- 百選地探訪
渚…島武蔵海岸
(北海道積丹町)
- 森…自然休養林蔵訪崎
(愛媛県八幡浜市)
- 渚…須ノ川海岸
(愛媛県愛南町)



創刊号
平成20年3月発行

- 総会開催地の紹介
山形県鶴岡市
- 百選地探訪
森…菊池溪谷
(熊本県菊池市)
- 滝…龍門滝
(鹿児島県始良市)
- 渚…お倉ヶ浜
(宮崎県日向市)



第2号
平成21年1月発行

- 総会開催地の紹介
長野県松本市
- 百選地探訪
森…大沼の森
(栃木県那須塩原市)
- 滝…弘沢の滝
(東京都檜原村)
- 渚…前原・横渚海岸
(千葉県鴨川市)



第3号
平成22年1月発行

- 総会開催地の紹介
宮崎県日向市
- 百選地探訪
森…赤沢自然休養林
(長野県上松町)
- 滝…姥ヶ滝
(石川県白山市)
- 渚…宮崎・境ヒスイ海岸
(富山県朝日町)



第4号
平成23年1月発行

- 総会開催地の紹介
鹿児島県始良市
- 百選地探訪
森…風の松原
(秋田県能代市)
- 滝…法体の滝
(秋田県由利本荘市)
- 滝…常清滝
(広島県三次市)
- 渚…室積・虹ヶ浜海岸
(山口県光市)

日本の森・滝・渚全国協議会

日本の森・滝・渚全国協議会 会報「百選賛美」第15号

編集・発行

日本の森・滝・渚全国協議会
〒743-8501
山口県光市中央六丁目1番1号
事務局（光市役所環境政策課内）
TEL 0833-72-1465
FAX 0833-72-5943

発行日

令和4年2月